



# 南町小だより

つよく かしく あたたく

平成28年4月28日

校長 福田 俊彦

## 6年生の姿から

校長 福田 俊彦

近隣の公園や道路脇の花壇に見られるツツジの花が、鮮やかに咲き誇り、心を和ませてくれます。過日、校長室に代表委員会の子供が訪ねてきました。「校長先生、今年の代表委員会の1年間のテーマが決まりました。『色とりどりの明るい笑顔、あふれる学校』です。」との報告です。この1年間、代表委員会では、それぞれの活動を通して、笑顔であふれる南町小学校を創っていきます。訪ねてきた子供たちから、その気持ちが強く伝わってきました。自然の光景が、そして、子供たちの気持ちが、今年度の南町小学校の先を明るく照らしてくれているように思われました。保護者、地域の皆様におかれましては、子供たちが自らの活動を通して、目指す学校を創っていこうとすることに、ご声援をいただければと思います。

先日、副校長から聞いた話です。「6年生が、最高学年として、学校生活のいろいろな場面でがんばっています。」このがんばりは、どこからくるのでしょうか。私は思います。南町小学校でこれまでに世話になり、学校をリードしてきた多くの先輩の姿に、あこがれをもっていたから。5年生の時に6年生の姿を見て、学んだことを思い起こしているから。1年生との関わり、下学年との関わりの中で、6年生としての役割が大切であることを感じているから。6年生の仲間と共によりよい学校生活を創り上げようとする目的をもっているから。きっと他にも、6年生の心を動かすものがあるのでしょうか。4月の経験は、次の活動のエネルギーとなり、6年生の行動を更に高めていくと期待しています。

子供たちも、大人もそうです。自分の居場所に役割があること。そして、その役割を認められていること。自分の役割を周りから必要とされていること。そのような時に、人は、自分が役に立っていると強く感じます。人のためにがんばれることは、自分のためだけにがんばれているときより、得ることが多いように考えます。それは、他の人から届くものがあるからです。感謝もそのひとつです。励ましもそのひとつです。今、6年生は、そのことを強く感じています。5月半ばには、3泊4日の移動教室として、千葉県ベルデ岩井に出かけます。6年生みんなで生活を創っていく4日間には、これまでの学校での経験が活かされます。移動教室での経験は、今後の学校生活を創り上げていくことに活かされていきます。そして、6年生の姿が、次の6年生に引き継がれていきます。

これらの6年生のがんばりや行動に対し、大人には価値を付けていくことが求められます。肯定的な価値を付けることが、子供の自信につながります。南町小学校の文化として、伝統として。子供が自ら学校生活を創ることが、南町小学校の誇りとなります。今後とも子供たちの姿に、皆様のお力添えをお願いいたします。